

## 新系統豚「フクオカヨーク」の造成

投野和彦・佐藤充徳・大和碩哉 (福岡県農業総合試験場)

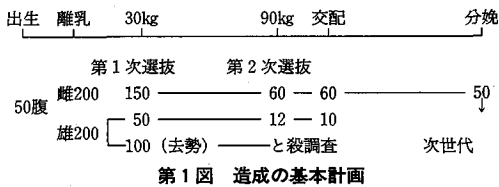
Kazuhiko NAGINO, Mitsunori SATO and Hiroya YAMATO :  
Development of a New Pig Strain "FUKUOKA YORK"

計画的な品種間系統交雑による経済価値の高い均一な肉豚の安定生産を目的として、「福岡県の気候風土に適し、肢蹄が強く、強健性があり、繁殖性及び産肉性に優れた雌系統」を目標に、大ヨークシャー種の系統造成を実施した結果、遺伝的斉一性に優れ、かつ能力の高い系統豚が完成した。

## 1. 造成方法及び経過

アメリカ、イギリス、オランダ、カナダが原産の優良な大ヨークシャー種を県内外から導入し、その中から雄11頭、雌39頭を基礎豚として選定し、1985年から閉鎖群育種法で造成を行った。造成群の規模は基本的に雄10頭、雌50頭とし、春出生一夏検定一秋交配の初産回転方式で世代を更新した。

第1次選抜は、体重30kg時点で発育状態、肢蹄、乳器等を指標に、育成豚として各腹より雄1頭、雌2～3頭を、調査豚として去勢雄2頭を選抜した。第2次選抜は、育成豚及び調査豚の産肉能力が判明した時点で行い、1日増体量、背脂肪の厚さ及びロース断面積を選抜形質とした選抜指数法により、次世代豚として雄10頭、雌60頭(予備豚10頭を含む)を選抜した(第1図)。



7年間7世代にわたる選抜改良の結果、平均血縁係数が22.0%、平均近交係数が8.1%となり、1993年3月2日、系統豚「フクオカヨーク」として認定された。

## 2. 特性の概要

「フクオカヨーク」は発育が良く、背脂肪の厚さが適度でロース芯が大きく、繁殖能力や体型も優れた雌系の系統豚である。

1) 産肉能力：最終世代での1日増体量は、雄826g、雌749gと良好な成績を示した。背脂肪の厚さは雄1.6cm、雌2.6cmと適度な厚さに改良された。また、ロース断面積は雄20.7cm<sup>2</sup>、雌20.6cm<sup>2</sup>と大きくなった(第1表)。この成績は、西南暖地の暑熱下での育成という不利な面があるにもかかわらず、全国の系統豚の平均能力を上回る良好な成績であり、大ヨークシャー種系統では西日本でトップクラスに入る。

2) 繁殖能力：最終世代生産時の母豚の繁殖成績は、

初産でしかも1発情1回種付けであるにもかかわらず、平均産子数は9.5頭、育成率は91.5%、哺乳豚の発育も良好で、大ヨークシャー種の母系としての優れた繁殖能力の特性が十分発揮された(第2表)。

3) 体型：大ヨークシャー種としての特徴がよく出ており、大型で体幅と深みに富み、後躯が充実している(第3表)。また、乳器は鮮明でよく揃い、肢蹄が丈夫で、性格はおとなしく、飼いやすい豚である。

## 3. 利用上の注意

「フクオカヨーク」は福岡県農業総合試験場で維持、増殖しており、福岡県の銘柄豚生産におけるF1母豚(WL)生産用基礎豚として利用する。利用に際しては、「フクオカヨーク」飼養管理マニュアルを参考とする。

第1表 産肉成績

形質	性	第1世代	改良目標値	最終世代(第7世代)
1日増体量(g)	雄	755±105	800	826±49
	雌	581±82	620	749±68
背脂肪の厚さ(cm)	雄	1.59±0.20	1.4	1.60±0.22
	雌	2.75±0.32	2.6	2.61±0.21
ロース断面積(cm <sup>2</sup> )	雄	19.9±2.6	21	20.7±2.3
	雌	20.2±2.5	22	20.6±2.0

注) a) 1日増体量：雄は体重30kg～90kg、雌は生後90日～180日。

b) 背脂肪の厚さ：雄は体長1/2部位、雌は調査豚3部位平均。

c) ロース断面積：調査豚の5～6胸椎間。

第2表 繁殖成績

	1腹平均			育成率	子豚平均体重		
	産子頭	哺乳頭	離乳頭		生時	3週	5週
第1世代生産時	8.9	8.2	6.9	81.8	1.2	4.8	7.6
最終世代生産時	9.5	8.9	8.1	91.5	1.2	5.3	8.7

第3表 体型の変化

世代	性別	体型の変化 (cm)							
		体長	胸囲	管囲	前幅	胸幅	後幅	胸深	体高
G1	雄	111	101	17.3	28.6	25.2	28.0	34.5	66.6
	雌	112	102	16.5	28.4	25.1	28.4	35.2	65.8
G7	雄	111	101	17.9	30.1	26.5	29.8	33.5	66.3
	雌	118	109	17.2	31.5	27.9	30.4	36.0	67.3